

平成25年8月18日
今週のベストショット



奈多グラウンド 新町パイレーツ 対 雁の巣ライナーズ戦

二回裏、ライナーズ八番 明瀬航選手が技ありのレフト線2点タイムリー二塁打を放つ。

写真：レッドサンデーズ 前田篤史

雁レク軟式3 終盤、怒涛の攻撃でホーネットスを突き放す奈多サンデーズ！

三苦ホーネットス（5勝2敗0分）000021 3 井手●-松尾

奈多サンデーズ（7勝1敗0分）01044X 9 塚本○-荒口

3BH：塚本2（奈多サ） 盗塁：江口2（奈多サ）

ともに優勝候補、1敗同士の三苦ホーネットス対奈多サンデーズ。初回はお互いランナーを出しながらも得点できず静かな立ち上がりであった。二回裏、サンデーズは無死から江口選手が三遊間ヒットで出塁、送りバンドで二塁に進むと二死から宮口選手のセンター前ヒットで生還し先制する。さらに四回裏、打撃好調の江口選手が一死からレフト前ヒットで出塁、盗塁を決め二塁へ、その後二死となるも、荒口、宮口選手の適時打、さらに塚本選手の三塁打、相手ミスの中に4点を奪う。少しでも点差を詰めたホーネットスは五回表、松尾選手がヒットで出塁、続く代打谷山選手も出塁し、送りバンドで一死二、三塁から中角選手のライト前ヒットと堺巖生選手の犠牲フライで2点を返し5-2とする。反撃ムードが盛り上がってきたホーネットスであったが、その裏ミスから出塁を許し、サンデーズ塚本選手の三塁打などで五回裏も4点を献上し8-2となる。六回表にホーネットスは1点を返すも万事休す。ここぞという所で下位打線がつながったサンデーズが9-3で勝利を収めた。

（記事、写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎）



優勝はうちですよ。



先制のホームインする打撃好調のサンデーズ江口選手。



確実にバンド処理するホーネッツ井手投手。



見事完投、投打で大活躍サンデーズ塚本投手。



ホーネッツのショート稲葉選手の機敏な守備。



ゴロを捌くサンデーズのセカンド宮口選手。



巧みな技、ホーネッツ塚厳生選手。



サンデーズ荒口捕手の強肩でホーネッツ山崎選手を刺す。



何とかランナーを返そうと食い下がるホーネットス中角選手。



交差する難しいゴロも問題なしサンデーズ秋山遊撃手。

雁レク軟式4 ウインズ打線が奈多クラブ今林投手を打ち崩す！

新町ウインズ（4勝4敗0分） 1 2 1 0 3 0 7 藤田○ー今林孝智

奈多クラブ（4勝1敗3分） 0 0 0 2 0 4 6 今林瑠●ー安河内

HR：今林孝智（新町ウ）安部健太、安部慶彦（奈多ク）2BH：今林孝智2、渡辺（新町ウ）

先発はウインズ藤田投手、奈多クラブ今林瑠生投手で投手戦になると予想された。一回表ウインズは2アウトから三番今林孝智選手が目の覚めるような右中間を破るホームランを放ち、1点を先制。その裏ウインズ藤田投手は奈多クラブを0点に抑え順調な滑り出しを見せる。二回表ウインズは2アウト、ランナー二三塁から九番泉選手が今林瑠投手の球を見事にライト前に弾き返し、2点を追加する。三回表もウインズは先頭打者二番安藤一選手がセーフティバンドを決めるとすかさず盗塁を決める。そして四番城戸選手がライト前ヒットを放ち、更に1点を追加する。奈多クラブはウインズ藤田投手の好投により三回までノーヒットに抑えられていたが、四回裏、三番今林祐将選手がライト前ヒットで出塁すると四番安部健太選手がレフト横を抜けるホームランを放ち2点を返す。五回表ウインズは三番今林選手がライト横に二塁打を放つと藤田選手、代打野中選手、渡辺選手の三連続ヒットで更に3点を追加する。藤田投手の好投もあり奈多クラブも万事休すかと思われたが、六回裏、藤田投手は暑さと疲労の為か、三連続四球を与える。続く代田高瀬選手をサードゴロ、本塁封殺とするが七番砂場選手が犠牲フライを放ち1点を返す。しかし2アウトとなりここまでかと思われたが、八番安部慶彦選手が左中間を破る3ランホームランを放ち、1点差まで追い上げた。が、続くバッターを三振にとりゲームセット。ウインズが辛くも逃げ切った。両投手の投げあいかと思われたが好投手奈多クラブの今林瑠生投手を打ち崩したウインズ打線は見事だった。（記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則）



見事逃げ切ったウインズ藤田投手。



今季初黒星を喫した奈多クラブ今林瑠生投手。



一回表、右中間を破るHRを放つウインズ今林孝智選手。



二回表、ライト前タイムリーを放つウインズ泉選手。



三回表、セーフティバンドを決める安藤一選手。



四回裏、ライト前ヒットを放つ奈多クラブ今林祐将選手。



四回裏、レフト横を抜けるHRを放つ安部健太選手。



五回表、代打でレフト前ヒットを放つウインズ野中選手。



五回表、ライト横のフライを好捕する安部慶彦右翼手。



五回裏、代打で粘りを見せる奈多クラブ今林賢人選手。



六回裏、犠牲フライを放つ奈多クラブ砂場選手。



大活躍した今林孝智捕手と藤田投手のウインズバッテリー。

奈多グラウンド シーソーゲームを最後に制したのは…

新町パイレーツ (2勝3敗1分) 0 1 2 0 3 吉田●—大濱

雁ノ巣ライナーズ (4勝2敗1分) 0 3 2 X 5 鳥越○、有馬—明瀬旭

3BH : 吉田 (新町パ) **2BH** : 大濱 (新町パ) 宇野、明瀬航 (雁の巣)

盗塁 : 白岩、川田 (新町パ) 鳥越、中口 (雁の巣)

二回表、新町パイレーツは四球で出たランナーを七番吉田選手が三塁打を放ち、先制点を先取。しかしその裏、雁ノ巣ライナーズも反撃。エラーと四球、そして盗塁から、二三塁とすると八番明瀬選手がレフト線に二塁打を放ち2点を返す。その後、ワイルドピッチから更に1点追加する。三回表パイレーツは、無死一二塁のチャンスに五番大濱選手がレフトオーバー二塁打で2点を返し3-3の同点とするも、後続が倒れる。三回裏ライナーズは、一死満塁のチャンスに、七番鳥越選手のセンター前ヒットで2点を追加し、四回表に交代した有馬投手がパイレーツ打線を抑え、3-5で雁ノ巣ライナーズが勝利した。(記事、写真: レッドサンデーズ 前田篤史)



パイレーツのピッチャー吉田投手。



ライナーズの先発ピッチャー鳥越投手。



両チームこれ以上負けられない試合開始の挨拶。



二回表、先制点となるパイレーツ吉田選手の二塁打。



二回裏、レフト線の逆転2点タイムリー二塁打のライナーズ八番明瀬航選手。



二回裏、WPでホームへ激走ホームインの明瀬航選手。



三回表、ライナーズの中口中堅手からの好返球でアウト！

青松園A 最終回到運も味方につけたジャガーズが逆転勝ち！

塩浜ジャガーズ（2勝3敗3分） 1 3 0 0 3 7 立石○ー堀内

三苦三球会 （4勝3敗0分） 4 0 0 1 0 5 吉留●ー藤澤

HR：荒木（塩浜ジ）、2BH：立石（塩浜ジ）

初回、ジャガーズは立ち上がりの制球が定まらない三球会の吉留投手を攻め、無死一二塁のチャンスに三番立石選手が右中間へのタイムリーで1点を先制。一回裏の三球会も立ち上がりの不安定だったジャガーズの立石投手から二つの四球と死球で無死満塁とし、四番塚（太）選手と五番塚（達）選手が連続してタイムリーヒットを放ち、七番浜口選手もライト前へ2点タイムリーで一挙4点を返し逆転に成功。二回表、ジャガーズの8番稗田選手が内野安打で出塁すると失策と四球などで一死満塁のチャンスに二番道喜選手のライトゴロの間に1点。続く三番立石選手がまたもや左翼線への安打で2点を返し同点へ。その後は両投手とも立て直し、得点を与えない展開に！しかし、四回裏三球会は突如乱れた相手ピッチャーの隙を突き、1点を追加して逆転。ここで今日は三球会の勝利に終わるのか？と思われたが、ジャガーズはこのままでは終わらなかった。五回表、ジャガーズも相手ピッチャーの四死球で一死満塁のチャンスを作ると、六番荒木選手が値千金の左翼を超える本塁打で3点を返し、逆転に成功。その裏、ジャガーズは立石投手が1四球を出すものの無難に抑え勝利をものにした。

（記事：三苦フレンズ 御手洗、写真：肥喜里一征）



ジャガーズの先発立石投手。投打で活躍！



珍しく不安定だった三球会先発の吉留投手。



一回表、ジャガーズ二番道喜選手の見事なセフティーバント。



一回表、無死満塁のピンチで三球会内野陣がマウンドに！



一回裏、同点タイムリーを放つ三球会の四番塚太一選手。



一回裏、ジャガーズ内田三壘手の見事なダイビングキャッチ！



二回表、難しいセカンドゴロに挑む三球会原口選手。



二回表、本日3打点目となる2本目のヒット立石選手。



四回表、送りバント処理を無難にこなす三球会渡辺三塁手。



四回裏、1点勝ち越しのWPで生還した三球会橋本選手。



最終回、逆転の本塁打を放ち笑顔のジャガーズ荒木選手！

¥ ^ v ^ ¥



最終回の逆転に盛り上がるジャガーズベンチ！

第14週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第14週、8月18日は4試合が行われました。

雁レク3の三苦ホーネッツ対奈多サンデーズ戦は、四回表まで0-1とホーネッツ井手投手、サンデーズ塚本投手の投手戦だったが、井手投手は三回まで1失点、四回も強打者サンデーズ四番大沼選手を三振に取った後の江口選手から送りバントを挟んで四連打に失策が加わり4失点が命取りとなった。常に先手を取ったサンデーズが3-9で勝利を挙げたが、初回のホーネッツ二番俊足の山崎選手を刺した荒口捕手の功績が大きい。逆にサンデーズ五番江口選手は2盗塁を成功させ、七番荒口選手がこれをタイムリーで返すというそつのなさ。打っても塚本投手の2本の三塁打など大技小技のサンデーズが監督不在にもかかわらず本領を発揮した試合だった。気にかかるのは、ホーネッツは2点を返した五回裏に井手投手が続投し、結果4失点したこと。1点もやれない状況なので矢野投手にスイッチはなかったのだろうか？

雁レク4の新町ウインズ対奈多クラブ戦は、遂に奈多クラブに黒星がついた。ウインズは初回から三番今林孝智捕手のHRなどで三回までに4点を挙げ、優位に試合を運んだ。対して奈多クラブは、四回に四番安部健太選手の2ランに最終回安部慶彦選手の3ランと一発攻勢で追い上げたが、序盤の失点を埋めることは叶わず、ここ二試合連続で最終回ぎりぎり追いついて引き分けていたが、結局好投手ウインズ藤田投手の前に1点届かなかった。9安打で効率的に点を取ったウインズに拍手。

奈多グラウンドの新町パイレーツ対雁ノ巣ライナーズ戦は、初回のチャンスを両チームとも逸した二回、パ

パイレーツは四球のあと七番吉田投手が三塁打を放つも1点のみに終わったのが痛かった。一方ライナーズはエラー、四球の後に八番明瀬航選手のレフト線二塁打にWPで3点とランナーを残さない点の取り方。パイレーツも三回表に五番大濱選手が2点タイムリーを放つも、ライナーズ中口中堅手からのバックホームで刺され勝ち越しならず。追いつかれたライナーズはその裏2四球から鳥越選手の2点タイムリーにWPで3点を挙げ、最終回は抑えの有馬投手が締めくくった。パイレーツ3安打、ライナーズ4安打の試合は、3-5でライナーズが勝利したが、WPによる失点がそのまま点差になった一戦だった。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対三苦三球会戦は、序盤から点の取り合いで、二回を終わって4-4。四回裏に三球会八番橋本選手がWPで勝ち越しのホームを踏むが、五回表四死球で二人のランナーを置いて、ジャガーズ六番荒木選手が逆転3ラン！それまで2打席を抑えられていた19歳の若者が、BIGな働きをやってのけた。

夏の甲子園大会の決勝は宮崎県勢初優勝を狙う延岡学園対初出場初優勝を狙う群馬の前橋育英でしたが、先制されるも粘り強く戦った前橋育英が4-3で優勝しました。優勝した前橋育英の新井監督の息子がキャプテンでした。WSLにも親子同じフィールドで戦ってる選手がいます。今後お互いに叱咤激励しながら全力プレーをしてほしいと思います。

ここで、優勝した前橋育英高校硬式野球部の紹介

http://www.maebashiikuei-h.ed.jp/life/club_sport/club_baseball.html

「スローガン」

簡単なことを丁寧に

自律・自立

凡事徹底

(本物とは、中味の濃い平凡なことを積み重ねること)

「方針」

『チーム作りは人作り』ということで、人間教育を大切にしている。普段の生活、授業態度など、野球以外の時間も大切に、週一回のボランティア活動(地域の人たちと清掃活動など)も行い、学校からも地域の人たちからも愛される野球部作りをしている。

野球においては、甲子園出場・日本一を目指して日夜練習に励んでいる。まずは土台作りということで、体力強化(ウエイトトレーニング・ランニングトレーニング)を技術練習と平行して行っている。

「練習時間・内容」

月曜日は全体練習はなく、ボランティア活動・掃除また通院などの時間に当てている。

火曜日・木曜日は16:00~20:00、水曜日・金曜日は14:00~19:00、土曜日・日曜日は9:00~17:00

(シーズン中は試合)

シーズン中は週二回（オフは週三回）ウエイトトレーニング・ランニングトレーニングを取り入れている。

「技術練習」

守り

基本練習（捕球の形、送球のステップ等）からシートノック、ランナーを付けての判断力と段階を追って作り上げる

走塁

ノック形式の走塁練習、バッティング練習時に打球の判断力

打撃

多種類のティーバッティングで形を作る

ハーフバッティング・フリーバッティングでタイミングをつかむ

実践練習で状況判断力を養い試合につなげる

ふむふむ、ボランティア活動で掃除をやっているそうです。やはり綺麗にしようとする心には野球の神様も宿るんでしょね。

前にも書きましたが、WS Lも

クリーンハート！クリーンファイト！！クリーングラウンド！！！！

で行きましょう！